

<先週の説教から>

『ヘブライ④－生ける神の都』

武田真治牧師

出エジプト記 19:10-19、20:18-21

ヘブライ人への手紙 12:18-24

今日の箇所は“2つの山”が対比されています。一つ目は“シナイの山”です。かつてイスラエルの人はモーセに率いられて出エジプトをし、荒野を旅してシナイ山まで来ました。そこで“十戒”を授けられたのですが、その際、モーセ以外の民は一人としてシナイ山に「近づく」ことが赦されませんでした。神様は「燃える火、黒雲、暗闇、暴風」で行く手を阻まれたのでした。「山に触れれば、殺さなければならない」と。その様子は「モーセすら『わたしはおびえ、震えている』と言ったほど」であったと今日の箇所にあります。これがまさに旧約聖書の信仰と言い得ます。神様を恐れ、汚れている者、罪深い者は近づくことができないと。

それに対してもう一つの山が“シオンの山”です。即ち「しかし、あなたがたが近づいたのは、シオンの山、生ける神の都」であると。この“シオンの山”とは旧約聖書の詩編やイザヤ書や哀歌などにたくさん登場する、エルサレムの都と神殿が建てられている山のことで、ダビデがこの都を建て、次のソロモン王が神殿を造ったのでした。長い間、イスラエルの人々の信仰の中心でしたが、バビロニアに侵略され、都も神殿も焼き落ちたのでした。故にユダヤ教徒は今でも神殿の復興を願っているのです(=シオニズム)。しかし、このヘブライ書=キリスト者は、私たちが近づくのは、崩れてしまった地上の都ではなく、今もしっかりと存在する“生ける神の都”だと。それこそ「天のエルサレム」であるのだと。しかもそれはいつか、将来にそこに行くというだけでなく、ここで「あなたがたが近づいたのは」とあるように、もうその天の都へ続く“道の上にある”、今もその途上にあるのだと強調しているのです。私たちはもう向かっているよ！

そして、その天の都で私たちが待っているのは「無数の天使たち」と「天に登録されている長子たち」だと言われている

ます。この「長子」こそ先に天へと召された者たちのことです。おもしろいのは、そこではみんなが「長子」と見做されるのです(女性も!)。神様の目から見れば『ひとり一人が大事な初子なのだ』と。神様は『あなたこそ大事な初穂だよ』と言われておられるのでは。この言葉から、私は「主イエスを信じなさい。そうすれば、あなたもあなたの家族も救われます」(使徒言行録 16:31)のみ言葉を思い出します。

そして、この天の都で為されていることが「祝いの集まり」「集会(=エクレスシア、教会を意味します!)」と呼ばれています。これはまさに《天の教会での礼拝》ではないでしょうか。しかもこの天での礼拝は“ひとつの集まり”です。地上でどんなに教会や信仰者が分かれようとも、天の教会は“ひとつ”とされるのだと。素晴らしいことではないでしょうか!

【今週の集会】

*聖書研究・祈禱会 I. 4月 26日(水) 20:00
II. 4月 27日(木) 10:30

聖書: ハイデルベルク信仰問答

祈禱主題: 教会総会を覚えて

担当者: (水) 鈴木 (木) 保坂

祈りに覚える人: 小草さん 柿澤さん

ひつじ雲の会 4月25日(火) 13:30~

【教勢報告】

主日礼拝 男 19 女 60 計 79

祈禱会 I. 男 6 女 3 計 9 II. 男 1 女 8 計 9

日曜学校 幼稚科 6 小中科 18 計 24

【次週主日礼拝】 4月 30日(日)

聖書: 詩編 32:1~11

ローマの信徒への手紙 4:1~12

説教: 「詩編② — 罪を赦された者の幸い」

武田真治牧師

讃美歌: 11(1)、32(1)、393(1と2と4)、
456(1~3)、83(1)

【次週当番表】

司式: 岩佐長老 奏楽: 勝村 礼拝: 坂田長老

献金: 兼川 金刺 受付: 東 佐々木

会堂準備: 東 阿部 伊藤 伊東 岩井

看板: 岩佐 週報: 小草

【次週集会予定】

礼拝前: ・求道者会 ・聖書輪読会

礼拝後: ・教会総会

週報

2023年度 教会標語

「礼拝に集おう！主に癒され、整えられて」

2023年 4月 23日

日本キリスト教団 上尾合同教会

牧師 武田真治

〒362-0041 上尾市富士見2-3-33

TEL&FAX 048-771-6549

<http://www.ageo-church.org/>